

平成27年9月15日
中部地方整備局

お知らせ

伊勢湾の環境を見る・学ぶ・体験する

～なごや環境大学 共育講座「伊勢湾の水環境について考えよう(全5回)」を実施しました～

1. 概要 :

伊勢湾再生海域検討会 環境活動実行委員会(※別紙1参照)では、一般の方々に、干潟での生物観察や漁業の学習などを通じて海を身近に感じていただくこと、また、水質調査を体験することで水環境の現状を知っていただくこと等を目的に、本年6月から9月かけて、なごや環境大学 共育講座「伊勢湾の水環境について考えよう(全5回)」を実施しました。

本講座では、海域環境に関心のある参加者(東海三県在住の小学生とその保護者及び高校生など30名程度)が伊勢湾(三河湾)の環境について、見て・学んで・体験し、伊勢湾(三河湾)の環境改善に向けて、一人一人が出来ることについて考えていただきました。

なごや環境大学 共育講座「伊勢湾の水環境について考えよう」スケジュール

回	日程	タイトル	会場
1	6月14日(日)	伊勢湾の環境と干潟の役割を学ぶ	藤前活動センター
2	7月5日(日)	三河湾の海と生き物を体感する	ラグナマリーナ
3	7月26日(日)	三重の浜は宝の浜	伊勢湾海洋スポーツセンター
4	8月7日(金)	名古屋港の水質を調べ、 名古屋港から海を見る	国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所
5	9月5日(土)	伊勢湾の漁業を知ろう	中学生学習センター

2. 開催状況 : 別紙2～6

3. 配付先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、豊橋市政記者クラブ、碧南市政記者クラブ、半田記者クラブ、蒲郡記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先 : 伊勢湾再生海域検討会 環境活動実行委員会
国土交通省中部地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課
課長補佐 武田 TEL : 052-209-6329



伊勢湾再生海域検討会

平成19年3月に策定された「伊勢湾再生行動計画」における海域での施策を検討するため設置された組織で学識経験者、専門家、市民・NPOなどにより構成されています。平成20年3月には、「伊勢湾再生海域推進プログラム」を策定し、以下のシナリオに基づいた取り組みを実施しています。

1. 貧酸素水塊の抑制と生物資源量の回復
2. 地産地消運動
3. ごみの少ない海の再生
4. 環境学習の実施
5. 人と海の結びつきを強化するための広報・PR

環境活動実行委員会（仮称）

上記シナリオのうち、4. 環境学習の実施について、なごや環境大学 共育講座を活用した環境活動をおこなうため設置され、平成25年度から「伊勢湾の水環境について考えよう」を開設し、同共育講座の企画運営にあたっています。

なごや環境大学共育講座 伊勢湾の水環境について考えよう

第1回 ～伊勢湾の環境と干潟の役割を学ぶ～

実施報告

6月14日(日)、藤前干潟活動センター(愛知県名古屋市港区)において、『なごや環境大学共育講座 第1回～伊勢湾の環境と干潟の役割を学ぶ～』を開催し、12名の方にご参加いただきました。

本講座では、藤前干潟に入り、生き物観察や土管漁体験を行った後、伊勢湾の環境や藤前干潟について学習しました。



藤前干潟の学習の様子



土管漁体験の様子



生き物観察の様子



振り返りの様子①



振り返りの様子②

藤前干潟での取り組みを行う際には、参加者全員が素足で干潟に入り、干潟の一角を手やスコップで掘り、干潟に生息する生き物を見つけました。

藤前干潟の学習では、NPO法人藤前干潟を守る会の戸苅さんから、藤前干潟に多様な生き物が生息していることや干潟の重要性について教えていただきました。

最後に、去年の生き物観察の結果と今回の観察の結果を比較し、藤前干潟における生き物の生息現状を確認しました。

なごや環境大学共育講座 伊勢湾の水環境について考えよう

第2回 ～三河湾の海と生き物を体感する～

実施報告

7月5日(日)、ラグナマリーナ(愛知県蒲郡市)において、『なごや環境大学共育講座 第2回～三河湾の海と生き物を体感しよう～』を開催し、37名の方にご参加いただきました。

本講座では、スナメリウォッチングを行った後、三河湾の干潟の役割について学習を行いました。



座学の様子



スナメリウォッチングの様子①



座学(三河湾の干潟の役割)様子



スナメリウォッチングの様子②

スナメリウォッチングでは、参加者は三河湾に生息する野生の小型イルカ「スナメリ」を一目見ようと、水面に目を凝らしていましたが、残念ながら「スナメリ」に出会うことはできず、残念そうな表情を浮かべる参加者もいましたが、船に乗り海にふれあえたことに、みんな満足そうでした。

座学(三河湾の干潟の役割)では、当局三河港湾事務所田村課長より、干潟の役割や三河湾の干潟について説明し、参加者に干潟の大切さを伝えました。

なごや環境大学共育講座 伊勢湾の水環境について考えよう 第3回 ～三重の浜は宝の浜～

実施報告

7月26日(日)、阿漕が浦海岸(三重県津市)において、『なごや環境大学共育講座 第3回～三重の浜は宝の浜～』を開催し、45名の方にご参加いただきました。

本講座では、阿漕が浦海岸で地引網体験やビーチコーミングを行った後、三重の浜(阿漕が浦海岸)について学習しました。



地引網体験の様子



ビーチコーミングの
振り返りの様子



座学の様子



ビーチコーミングの様子

地引網体験では、参加者みんなで力を合わせ、「ヨイショ、ヨイショ」と掛け声をかけながら網を引き、イワシやアジ、アカエイなど約200匹を捕まえました。

ビーチコーミングでは、波打ち際を歩きながら漂着物を集め、阿漕が浦から離れた場所からでも伊勢湾を通じてさまざまなものが流れてきていることを実感していました。

座学においては、阿漕が浦海岸の自然と歴史についてNPO法人居宅支援システムの久米さんよりお話いただきました。

なごや環境大学共育講座 伊勢湾の水環境について考えよう

第4回 ～名古屋港の水質を調べ、名古屋港を海から見る～

実施報告

8月7日(金)、国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所(愛知県名古屋市港区)において、『なごや環境大学共育講座 第4回～名古屋港の水質を調べ、名古屋港を海から見る～』を開催し、18名の方にご参加いただきました。

本講座では、水質調査について学習した後、名古屋港の水質についての実験や見学を行いました。



浮棧橋での採水の様子



採水ビン作成の様子



水質調査の様子



名古屋港見学の様子



実験の様子

水質調査では、名古屋港見学時に沖合で採水した海水と、参加者自らが作製した採水ビンで浮棧橋から採水した湾奥の海水、水道水を、簡易水質調査キットを用いて栄養分を調べました。

また、海水中の塩分量を調べる実験や、塩分濃度及び水温の違いにより、水の混ざり方の変化の実験なども行いました。参加者が実験を食い入るように見る姿がとても印象的でした。

最後に、今回調査した水の水質調査結果を比較し、名古屋港の環境について振り返りました。

なごや環境大学共育講座 伊勢湾の水環境について考えよう

第5回 ～伊勢湾の漁業を知ろう～

実施報告

9月5日(土)、名古屋市中生涯学習センター(名古屋市中区)において、『なごや環境大学共育講座 第5回～伊勢湾の漁業を知ろう～』を開催し、25名の方にご参加いただきました。

本講座では、伊勢湾の漁業について学習した後、参加者全員で伊勢湾で獲れた魚を調理し、魚食を体験しました。その後、ワークショップと座学を行い、伊勢湾の環境について考えました。

調理中の様子①



魚食体験の様子



座学の様子



調理中の様子②



調理中の様子③



ワークショップの様子

魚食体験では、愛知県漁業士組合の磯部さん、鈴木さん、安田さんの指導のもと、伊勢湾で獲れたエビを使ったかき揚げや穴子の天ぷら、鯛と鯛の刺身、たこ飯、エビのお吸い物などを作り、参加者全員でいただきました。

今回の講座では、全5回のまとめとして、『伊勢湾の環境学習を広げよう』をテーマにワークショップを開催し、活発な意見交換が行われました。参加者からは、家庭では出来ない活動や実験をしてほしいや、20名前後での講座の開催だと参加者全体と関わりが持てるからよい、開催地周辺の学校等を活用して広報してほしいなどのさまざまな意見が出されました。